

# アクセシビリティ確保に関する取組

株式会社シュアルタ

障害者による情報取得等に資する機器等の開発及び普及の促進  
並びに質の向上に関する協議の場 第3回

# 会社（シュアルタ）概要

- 主な事業
  - ソフトウェア開発、コンサルティング
  - 技術分野：ウェブ、プログラミング言語Python
- NVDA日本語版の開発
  - Windows用スクリーンリーダーを無料で配布
  - 2022年調査 日本で55%
- 動画制作：NVDAでアクセシビリティチェック
- ウェブアクセシビリティ基盤委員会(WAIC)
  - 2023年 会員組織、ワーキンググループ主査

# 代表（西本）紹介

- 大学教員（京都工芸繊維大学、東京大学 2011年まで）
  - 耳で覚えるキーボード「ウチコミくん」開発
  - 福祉情報工学研究会（電子情報通信学会）幹事
  - 文部科学省 科研費「情報福祉の基礎」
- 2012年 NVDA日本語チーム設立（2022年まで代表）
  - NVDA日本語版の開発、改良、普及啓発
- 2018年 広島県広島市で法人設立
  - シュアルタの由来は家族の名前

# NVDA = NonVisual Desktop Access

- 2006年 オーストラリアの全盲プログラマーが開発をはじめ
- オープンソース = 無料 + 自由
- 「晴眼者と同じコストでパソコンを利用できる」理想
- グローバルIT企業、世界盲人連合、日本財団などが支援
- 世界のボランティアが開発や翻訳に参加
- 毎年2回～4回のバージョンアップ
- 「アドオン」で機能を拡張
- NVDA日本語版は日本語の音声と点字に対応

# 視覚障害者から見た問題

- ウェブサイトでやりたいことがある
- うまくできない
- なにが悪いのか理解できない、説明できない
- スクリーンリーダーの不具合として報告する
- 報告すれば直ると期待する
- 可能なら視覚障害者用アプリを作ってほしい

# スクリーンリーダーが向き合う現実

- 基本ソフト(OS)
  - 毎年のようにバージョンアップ
- ウェブブラウザ
  - 数週間ごとにバージョンアップ
- ウェブサービス
  - 提供者は1日に何回でも更新できる
- ウェブに関わる人、組織、ツール、利用者
  - 仕様の作成、情報提供、実装の公開、使い方の習得
- 他者の不備を繕う = 支援技術の価値向上とは限らない

# 目指す世界

- 基本ソフト(OS)
  - 基盤を提供
- ウェブブラウザ
  - 仕様に基づいて実装
- ウェブサービス
  - アクセシビリティ達成基準に適合
- ウェブに関わる人、組織、ツール、利用者、支援技術
  - それぞれの立場で努力、立場を超えてお互いに協力
  - 新しいものが最初からインクルーシブ

# オープンなコミュニティの可能性

- 複雑な調整が必要
- 迅速に行う必要
- チームで取り組む
- コミュニケーションの無駄をなくす
- 時間や場所を超えて自律的に行動
- ツールとルールを整備

# アクセシビリティ確保のために

- いろいろなリスクとチャンスがある
  - セキュリティ
  - テレワーク、自動化、生成AI
  - VR, MR, 空間コンピューティング
- いろいろな取組が可能・必要・支援を求めている
  - 支援技術以外のプロダクトやサービス
  - 行政、経営者
  - 市民活動、ボランティア、当事者
- 妥協せず向き合っていく

# NVDA 障害者団体や行政との連携

- 障害者団体（広報、講習会、寄付、問い合わせ対応など）
  - 日視連、日本視覚障害者職能開発センター
  - サイトワールド、全国盲ろう者大会、ATACカンファレンス
  - 各都道府県の団体、特別支援学校、パソボラ団体
- 行政機関など（情報提供、紹介など）
  - 総務省（みんなの公共サイト運用ガイドライン）
  - デジタル庁（ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック）
  - 筑波技術大学（研究用アドオン開発）
  - 放送大学（情報社会のユニバーサルデザイン）
  - 国会図書館（読書環境の整備）